

2025 年 12 月 2 日

関係各位

千代田化工建設株式会社

**Heirloom Carbon Technologies への投資について**

千代田化工建設株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:太田 光治、以下「当社」)は、石灰石を用いた大気直接 CO<sub>2</sub> 回収(Direct Air Capture\*、以下「DAC」)技術を開発する Heirloom Carbon Technologies, Inc.(エアルーム・カーボン・テクノロジーズ、本社:米国 カリフォルニア州、代表取締役社長:Shashank Samala、以下「エアルーム社」)への出資を決定しました。エアルーム社は 2020 年に設立された気候テック企業であり、天然の鉱物反応を加速させることで大気中の CO<sub>2</sub> を恒久的に除去できる革新的技術を有しています。

本出資は、当社が掲げるマテリアリティ(サステナビリティの重要課題)「環境負荷低減社会の実現」に基づくものです。エアルーム社の低コスト・モジュール型 DAC 技術と、当社が培ってきたエンジニアリング力・プロジェクト遂行力を組み合わせることで、革新的 DAC ソリューションの導入拡大とコスト低減を推進し、地球規模の気候変動対策に貢献してまいります。

当社は総合エンジニアリング会社として、カーボンニュートラルの実現に貢献する技術の社会実装に向けて多方面から事業に取り組んでいます。これらの事業を通じて、当社のパーパスである「社会の“かなえたい”を共創(エンジニアリング)する」ことを目指して、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

Heirloom Carbon Technologies, Inc

設立:2020 年

本社所在地:San Francisco CA, United States

事業概要:大気中から直接 CO<sub>2</sub> を回収する DAC 技術の開発と、同 DAC 技術による CO<sub>2</sub> 回収・カーボンクレジットの創出・販売URL:<https://www.heirloomcarbon.com/>

\* 大気中に含まれる CO<sub>2</sub> を直接回収し、恒久的に貯留または利用するための先進的な脱炭素技術です。従来の CO<sub>2</sub> 回収が工場や発電所などの特定排出源を対象とするのに対し、DAC は空気中の CO<sub>2</sub> そのものを対象としているため、あらゆる地域で導入可能であり、脱炭素化が困難な分野(航空・セメント・化学など)の排出削減にも大きく貢献できる点が特徴です。既に欧米では商業化に成功した事例もありますが、規模拡大が課題とされています。

以 上

---

この件に関するお問い合わせ先 :IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻、宮崎Email: [chiyoda\\_pr@chiyodacorp.com](mailto:chiyoda_pr@chiyodacorp.com)URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>